

# 手のひらの 恋人ごっこ

ADULTS ONLY  
**R18+**  
18歳未満閲覧禁止

UNOFFICIAL FAN BOOK  
非公式二次創作同人誌  
転載・転売禁止 DO NOT REPOST / RESELL



全部を、燃やそう  
とした日。

——あの日

あ

は



どうカンチャナ？  
痛くないかな



ふ



……はい、  
ご主人様

は

は

お姉さまを逃がそうと、  
カバスの館に  
火をつけた、あの日——



対象を発見

あー、主犯の  
小間使いの  
方もいます

結局、私たちは  
逃げられなかった



お姉さまの脱出は  
失敗に終わり

つたく手間  
かけさせやがって

ガキの足で  
撒けるとでも  
思ったのか？

ほとんどの  
娼婦や小間使いが  
捕まっていた



残ったのは、  
館が燃えた事実と  
その責任だけ。

見せしめだ  
悪く思うなよ

…つと

ええ、まだ  
生かして  
いますが

…なるほど  
了解



おそらく話を  
聞きつけ、飛んで  
きてくれたこの人は、



私の恋人さんの中でも  
まだマシな方だった

私が本当に  
嫌なことはたぶん、  
あまりしてこなかった



彼は火をつけた  
私とヴァーニの代わりに



カバス側に  
身請け金と共に多額の  
賠償金を支払ってくれた

関係としては2人とも  
彼に仕える事になるらしい



彼が資産を持っている  
ことは知っていたが

連邦系の高官や  
財団などとも  
繋がりがあある…とか？



詳しくは  
わからない  
けれど……



朝は制服に  
袖を通すだけでいい



誰かの顔色を伺って  
掃除をしたり

機嫌で理不尽な  
要求をされたり

炊事や洗濯を  
押し付けられ  
たりもしない



ヴァーニは  
とても楽しそうに  
過ごしているし

友達もたくさん  
出来たようだ



そんな彼女を  
見ていると  
私は以前より

ほんの少しばかり  
心に暖かさを感じる

……でも、  
変わらず、



私はカゴの中の鳥で。



夜になると、  
いつも寝室に呼ばれ

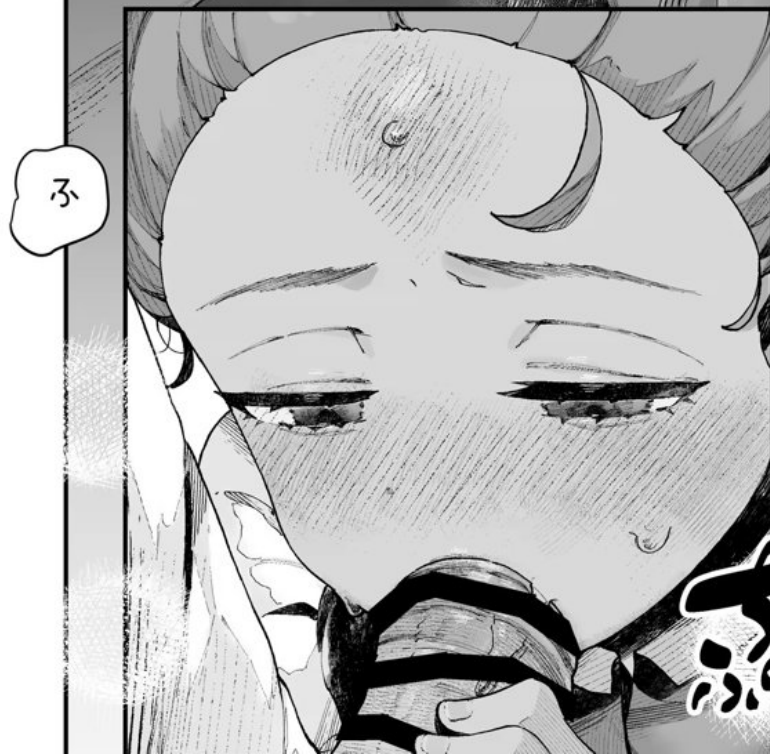
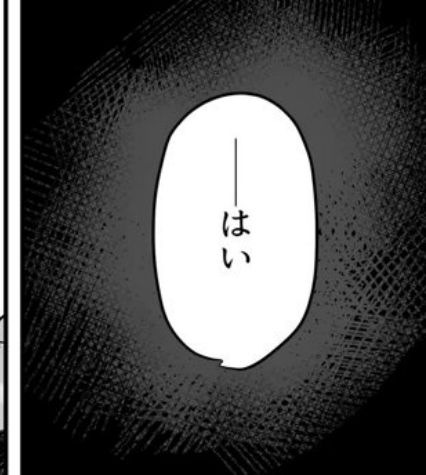
なんで、  
この服装…

夜伽の  
相手をする。



カンチャナ…

いつもの、  
お願いできるかな





『ヴァーニには、  
こういう行為を  
しないで欲しい』

もうきつと、  
知らないままで  
いいのだから

その条件のもと  
私は結局――



ん

ここでも  
恋人さんの相手  
をしている。

ん

ふ

んっ

ん



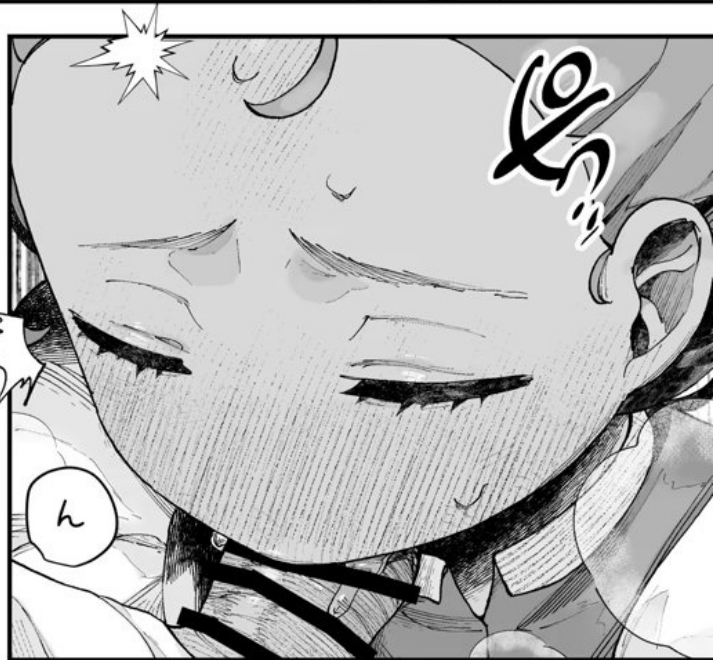
指の、うごき  
鬱陶しい……

にゅ



にゅん

にゅん



にゅん

ん



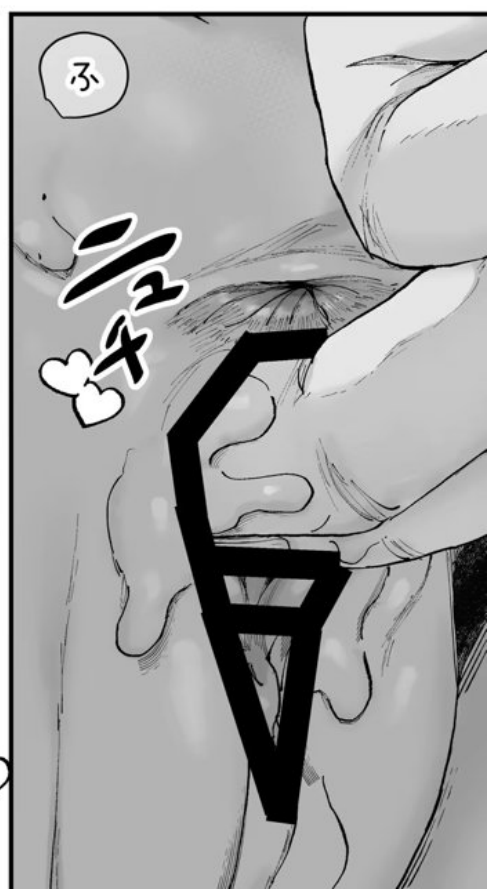
カンチャナごめん  
そろそろ出そう……

ふ



にゅん

にゅん

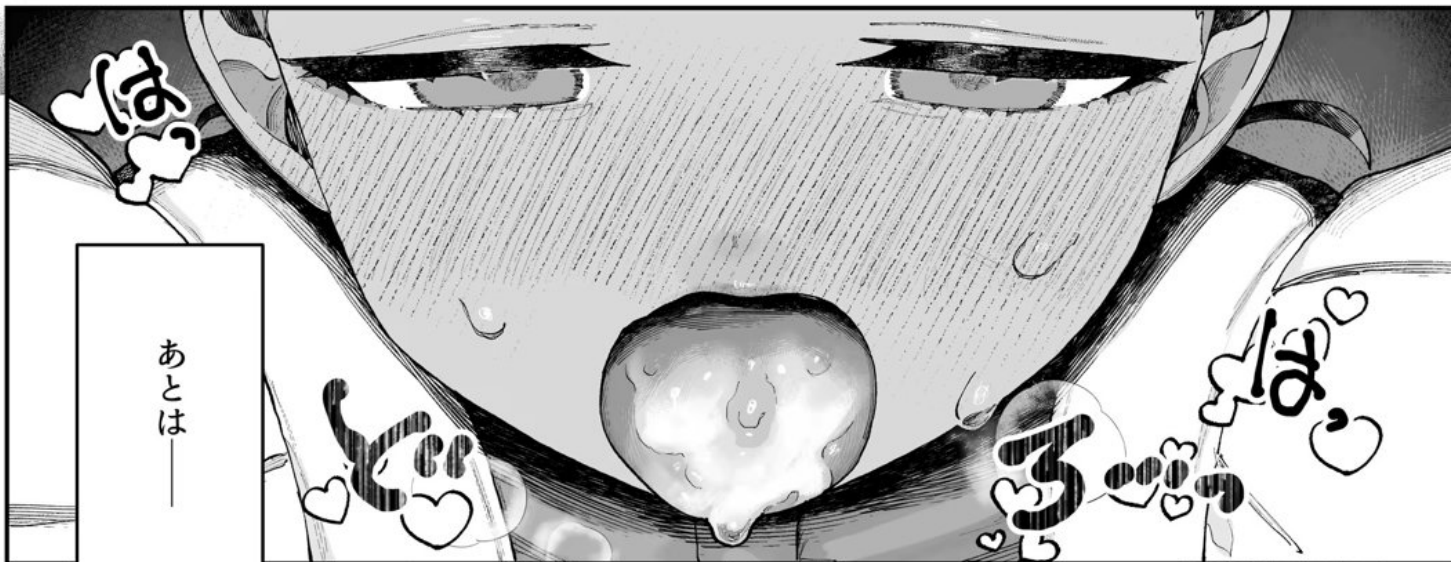


ふ

にゅん

にゅん





あとは――



いつもの  
流れで――

彼は私の準備が  
できるまで、  
という名目で

私の性器を  
執拗に弄ぶ

十分濡れて  
いるでしょう…!?

ほんとうに  
しつこい…っ

さつきから、  
ずっと、

イツてる、  
のに、

この人、  
やめて、  
くれない……っ

まがに

まがに

はあっ

っっあ

あ、イク  
イク、いく

この人の  
思い通りに、  
なりたくないのに



きつと、この人は  
全部わかって  
やってるんだ



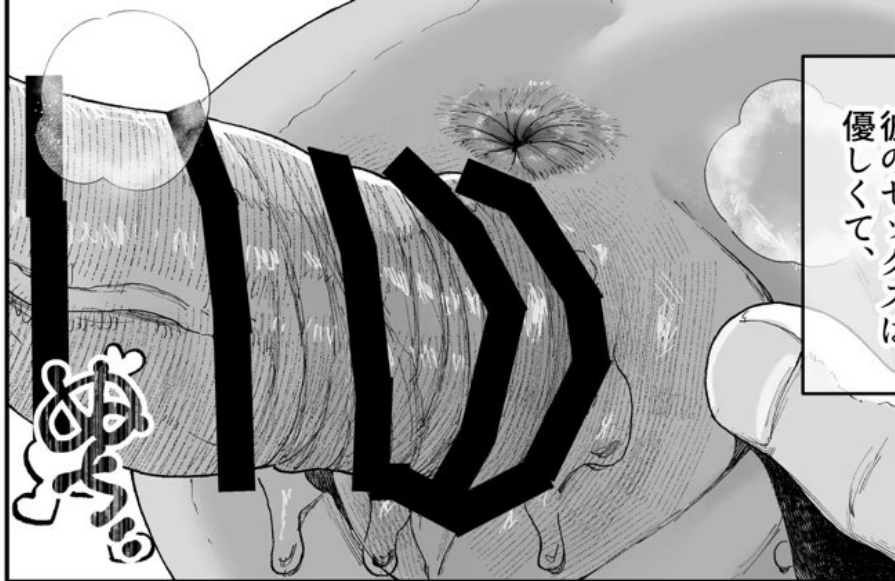
ささやかな抵抗を  
嘲笑うように



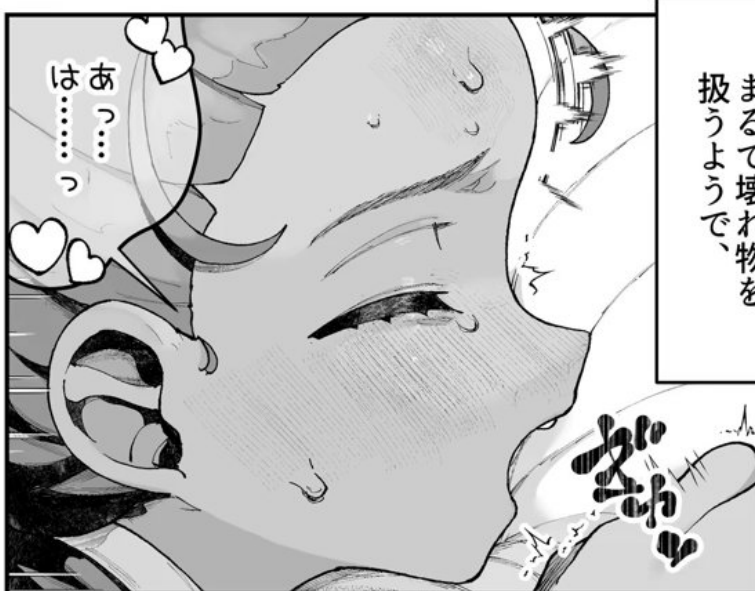
ご準備...  
できましたので...

どうぞ...  
お使いに  
なってください...

だからこんな、  
犬、みたいな



彼のセックスは  
優しくて、



まるで壊れ物を  
扱うようで、



それが罪滅ぼしの  
ように、感じて、





体重、あずける  
みたいに

奥の方、  
ぐりぐりって

ちよつと腰、  
浮かして

ずつと、弱いとこ  
ばっかり、

突いてくる……っつ





あく、もう  
やだ、やだ

もうイキたく、  
ない



いく、いく  
やだ、



あたま  
まっしろに

いくの、やだ



もうっ……

わた、しっ……



ごしゅじん、  
さま……っ  
イク、  
いきます……っ

これが私の、

屈服の合図で――

…わかった

ごめんね、  
もうちよつとだけ…

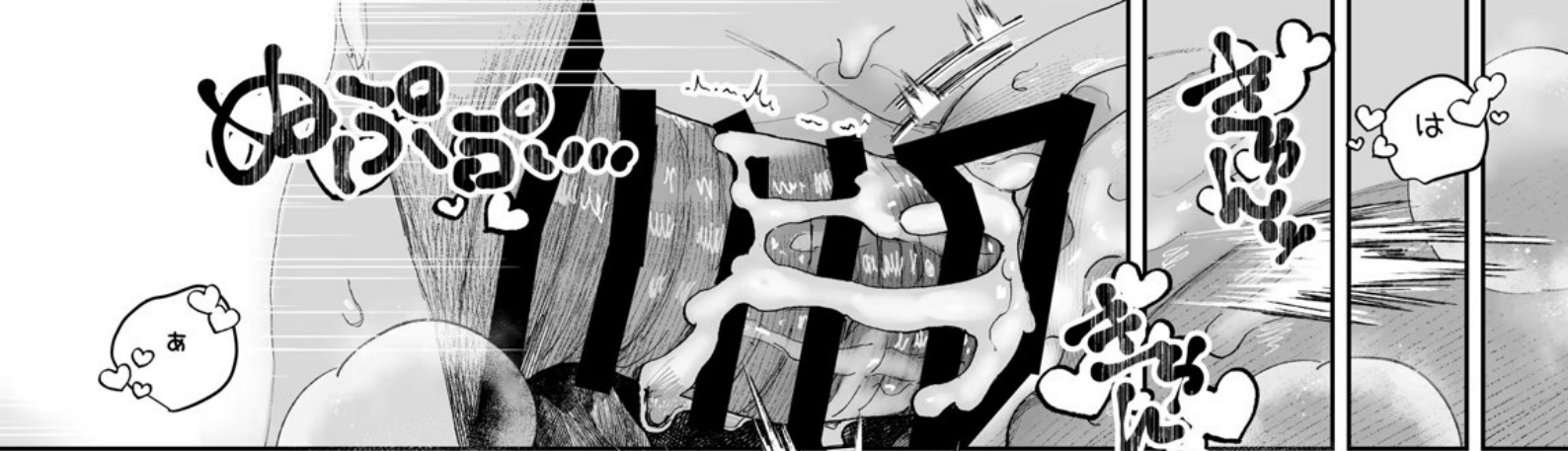
我慢して……

ふん、ふん

さいご、こんな  
はげしく、







行為が終わったあと

ふわ

いつもこの人は  
手を握り、

ふわ

私を抱きながら、  
余韻に浸る。

……まるで、  
本物の恋人を  
相手にするように。

は

重い…

は

でもこれは  
ただの擬似的な恋人で、

きつと、飽きられたら  
終わりのごっこ遊び。

私に、  
選択肢なんて、

ないのだから――



アハハ...



カンチャナ  
はっから  
するいぞ!!



ヴァー!?  
なに?



こういうことで  
いいですね?

つまり、

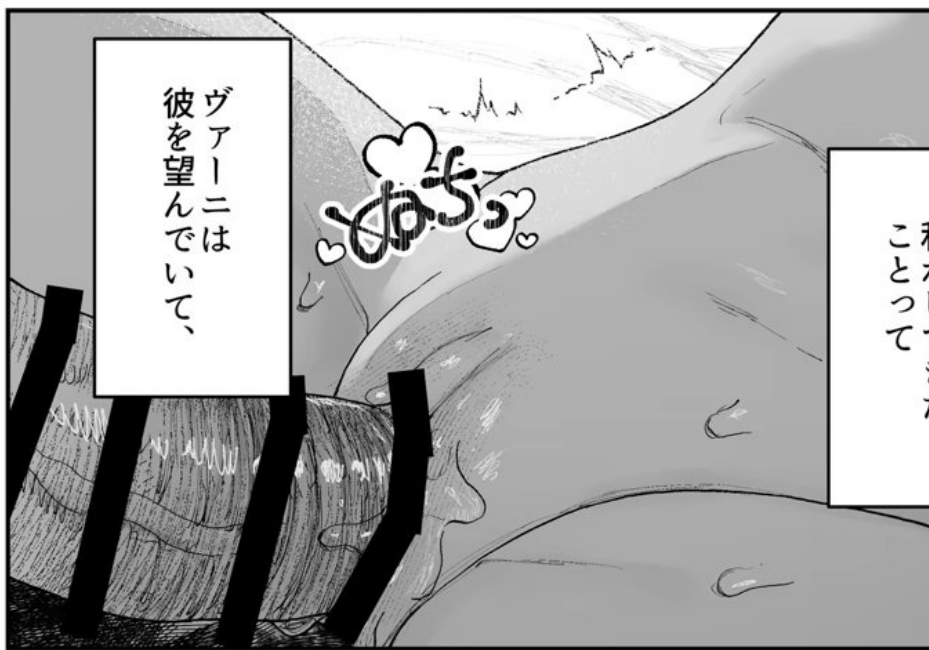


——わかりました











そうだ、今度から  
ヴァーニに  
任せればいい

嬉しそうに  
受け入れている  
のだから



私と、違って...

なんだろう  
このイラ立ちは



今日で、おしまい。

難しいことを  
考えるのは、

……もう、いいかな

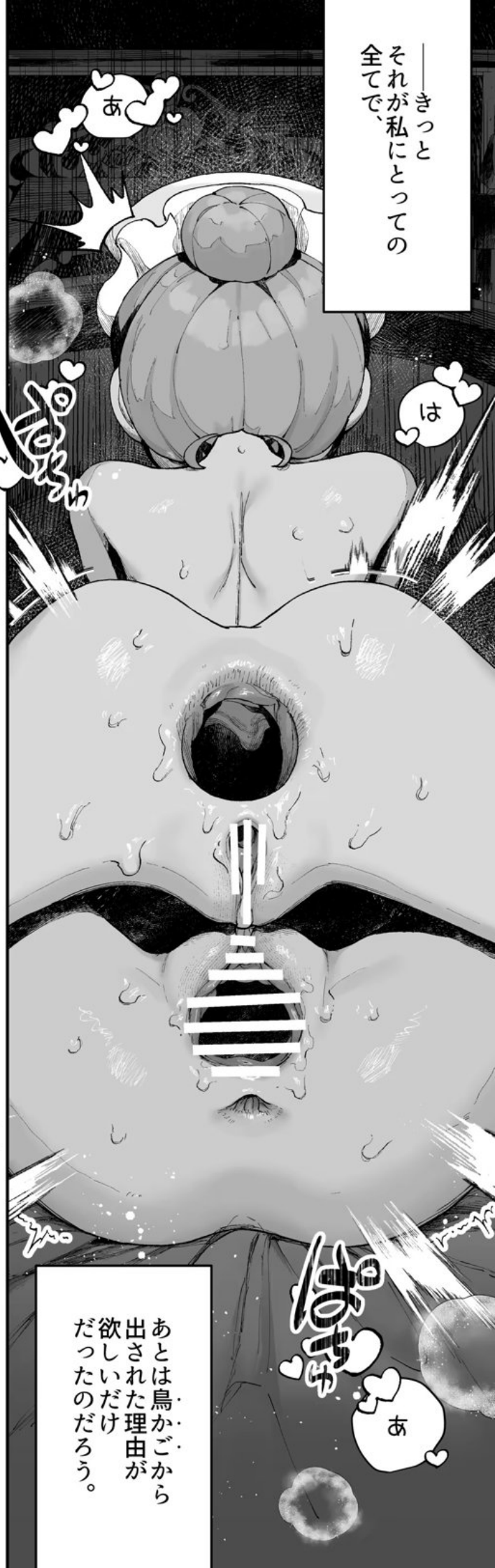
どちらの穴が  
良いか、  
試してみます？

ご主人様

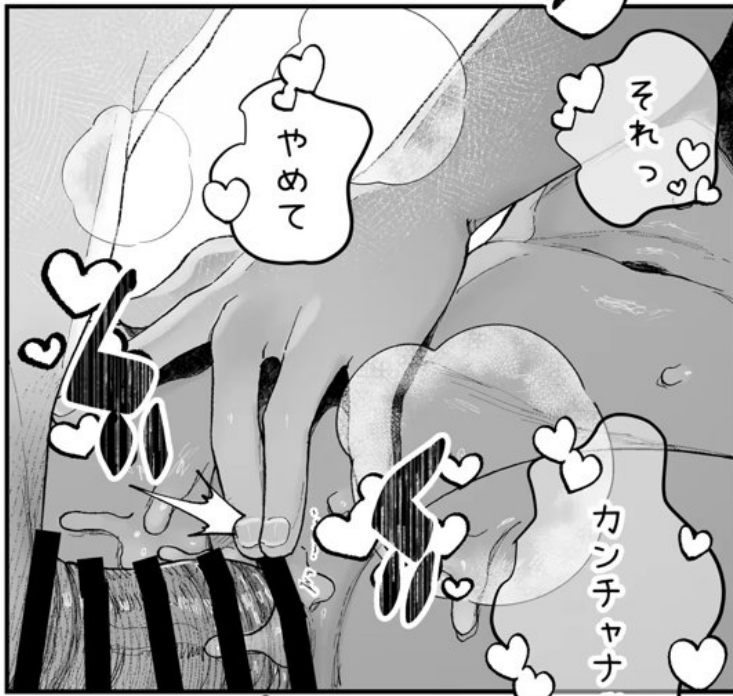
な……っ!?

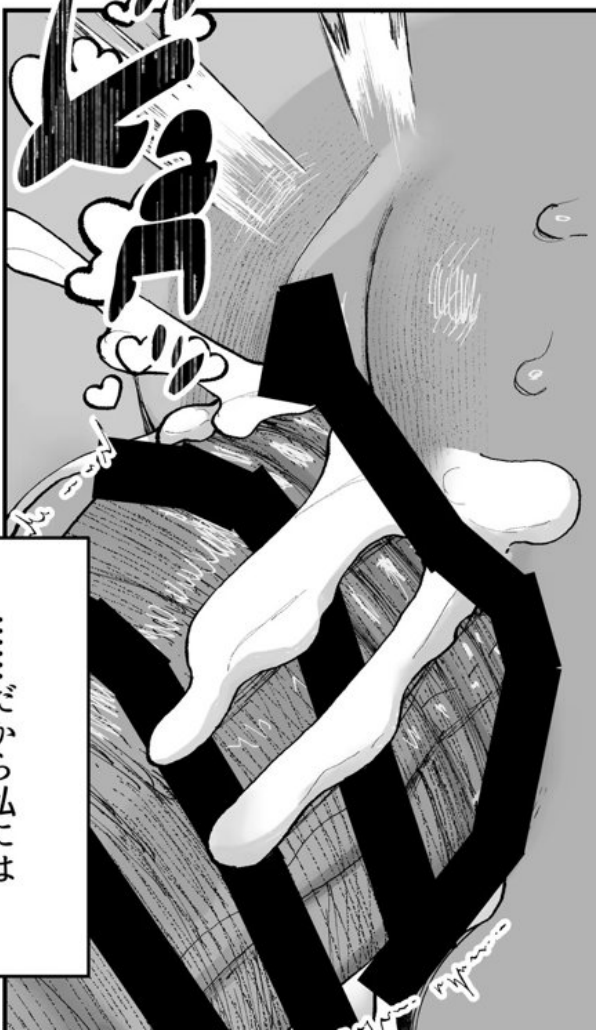


——きっと  
それが私にとっての  
全てで、



あとは鳥かごから  
出された理由が  
欲しかったの  
だろう。





……だから私には  
言葉が必要で、



気持ちいいだろ  
カンチャナ



おまんこ、  
あつたか〜い♡



さっきの  
仕返しだ



ほらっ!!  
イケっ!!

イケっ!!

偽物ではない確証が  
欲しかったのだ。



差し伸べられた  
手を取ることは  
案外、むずかしくて



誤解も、会話も、肌も、  
たくさん重ねて

は

その先にあった  
幸福は歪かもし  
れないけれど

は

これが私の選択で、  
初めて互いに  
選び合ったもので……

だからね、きっと――

お姉さま、あなたも  
選んでくれる誰かに  
出会えますように――

おわり



奥付け

著者：ねこてゐ

印刷：株式会社サングループ

誌名：手のひらの恋人ごっこ

発行日：2025/08/17

連絡先： mail nekotewi@gmail.com X:12\_shojo

Fantia,FANBOX,Ci-en,Subscribestar thank you supporters!